明治四十四年四月廿五日發行
毎月一回廿五日發行

婦人新報

第百六十六號

日本基督教婦人矯風會

103

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百六十六號

目次

○社説
○吉原遊廓の全燒は其れ天意なるか
○輿論の聲
廢娼論　福島四郎氏
吉原遊廓善後策について　高島米峰君
新波貞吉君
宮田脩君
公娼全廢論　山室軍平君
貴國の紳士淑女に望む　デビス嬢
之れ實地の問題　島田三郎君
○家庭欄
婦人の勢力　文學博士　桑木君
昔の女と今の女　同　谷本君
本部、大阪、静岡

社告

◎婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）　金六錢
六部（前金）　金三十五錢
十二部（前金）　金七十錢
（郵券代用一割増）

◎廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十四年三月廿四日印刷
明治四十四年三月廿五日發行
發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　横倉ヒデ
發行所　婦人新報社　東京市小石川區原町廿三番地
編輯及事務所　小石川區原町二十三番地

No. 166　　May, 1910

WOMAN'S HERALD.

Destruction of the Yoshiwara by the fire may be God's Will.
Glimpses of the public opinion against the licensed quarter of the Yoshiwara. Given by Mr. Fukushima, Takashima, Shiba, Miyata, Yamamuro, Shimada and Miss Davis.
Home Dept.

W. C. T. U. News.

Headquarters, Osaka, Shizuoka,

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 23, Haramachi Koishikawa Tokyo,
70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十四年五月十五日發行）

社説

（一）吉原遊廓全燒は天意なり

卯月九日風神の荒れ狂ふ最中に、東都の東北に當つて黑煙の天に漲るを見ました、忽ち吉原遊廓の出火で火勢なか〳〵凄く、消防の自由は妨げられて何處まで燒燃するか豫測する事が出來ないと云ふ風聞でした、朝の十時より夜に入るもまだ止まないで、東北の空一面に紅を帶びて居ましたが下谷淺草の兩區に渡りて、燒失家屋が二萬余てあると知れました、罹災者の多くは去年の洪水に害を被つて、まだ恢復し得ぬ人も多くあつたと云ふ事でした、各方面からは此等罹災民の救助に御救恤金品を多く送られたことでありました此際私共矯風會員は何を致すべきであるか、救助の金品を募集する事も必要でありませう、然し尤も急を要する事は、此際吉原遊廓の全滅に力を致し一方では開放せらるべき娼婦の救濟につとむべきであると、本部役員は火災の翌々日より之が運動に着手いたしました、吉原遊廓の全燒するなどゝは私共の爲に最も思ひ設けぬ事でありました、日本の名物の然かも力ある一つとして世界に鳴り響いて居るこの吉原遊廓は遂に天の靈火によつて燒き盡されたのでありました一軒をも餘さず燒き盡されたのは天意でなくて何でせうか。大能の御手は曾つて風俗亂れ罪惡に滿ち不義の娛樂に耽りたる彼の驕れる桑港の市を燒き盡されたのではありませんか、私共は罹災者に對しては滿腔の同情と保護とを捧げたいと思ひますが、首都風俗の壞亂源たる此の醜業場慘酷なる奴隸賣買場の全く燒失しましたのは、非常に愉快に思ふ事であります、私共は此の天意のある處を解して、其聖旨をとぐる爲めに其使命を盡さねばなりません、然し是れは決して容易な仕事ではありません、同志の祈禱と同情と奬勵とがなければ兎ても

なし得べき運動てはありません、私共は年來の素志を遂行する爲めには、ペストを盡さねばなりますまい、當局者は實に此問題に就ては甚だ冷淡てあります、識者の中にさへ寧ろ此問題に無頓着の人を多く見るのてあります、種々の情實なる者が私共の此運動を妨害するのてあります、私共は市民の多くは民心を萎靡さする此の如き營業の一日も早く撤退されむ事を望む者だと思ひますが、此の市民を代表する多くの人否殆ど全部は到底望み得べからざる事として、私共のなす處に耳を貸さないのてあります、然れは一年間の假營業は許可せられてまた同所に醜營業を再び營ます方針を取つて居られる、唯だ僅かに消防の不便を免れん爲に家屋の建築に些の改良を加へられると云ふのみてあります、人間は正義の聲を聞くにしかく鈍いものてあるのてせうか、理想の域に達する迄に努力する勇氣がないのてせうか、善に對して大英斷をなすの覺悟が乏しいのてせうか、また私共の望む處は、果して空想てあるのてせうか、然らば群馬縣下に於ける廢娼派の勝利あれはあさい夢てあつたてせうか、私共は飽く迄も奮鬪して最後の勝利を期したいと欲します、靈火によつて焼き盡されたる吉原遊廓は永遠詛はれたものてあります、詛はれたる吉原遊廓の再興は慥かに大なる詛を持ち來すものなるを信じて、之が全廢せられん事を切に希望いたします、讀者諸氏よ私共の奮鬪に力を添へて失望する事なき樣に祈と同情を惜み給はぬやうに希ひます

◎輿論の聲

公娼廢止論（婦女新聞記者）

日本基督教青年會、婦人矯風會、救世軍、幷に風俗アラタメ會の諸氏は、吉原遊廓の全焼を機として、之が再興不認可　已むなくんば移轉――の運動を起した吾等は諸氏の勞を多とし　その成功を祈ると同時に、この正義の叫に對して聲援するの義務あるを信ずる。

紳士淑女の口に上すべからざる遊廓若くは娼妓なる語を當分本紙上に繰返さざるべからざる必要に迫りたるを切に悲しむ。

世に習慣ほど恐ろしい勢力は無い。封建時代の人民は、貴人の通行に際して土下坐する事や、切捨御免といふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が如き亂暴なる法律をも、當然の事だとして審まなかつた。女子の貞操を賣買する娼妓制度を審まないのも、つまり此の歴史的習慣に囚はれた結果に外ならぬ。故に、此の問題を研究するには、先づ其の歴史的習慣から脱して、虚心冷靜、人類根本の意義から考へなければならぬ。實際問題は其の後の事である。

『女子は男子の爲めに此の世に生れたるものなり』や換言すれば『男子は、自己の幸福の爲め、女子の幸福を犠牲にするの特權あるものなりや』之が先決問題である。若し男子に此の特權があるものならば、一夫多妻も許さなければならぬ、妻の虐待も罪惡ではない、男子の情慾を滿たさん爲めの娼妓制度の如き、亦當然の事といはねばならぬ。けれども、かゝる愚問愚答は、今日最早問題にはならぬ。男女は人類の二方面として、相助け相補ひ、共に其の生を樂み、而して其處に眞の幸福あり、決して一方のみの快樂の爲めに他を犠牲にすべきにあらざる事は、自明の眞理として一般に承認せられて居る所である。殊に日本女子は、貞操を以て生命とし、神代の昔より多少の浮沈こそはあれ、此の思想は一貫して居る然るに、中世に於て、たま〳〵此の貞操を賣物とする女子が生じ、無邪氣なる男子の之に戯れたのが習慣となつて、審まなくなり、遂に公許せらるゝに至つて、一個所が忽ち數個所となり、數個所が又數十個所となり、今日の如く驚くべき發達を見るに至つたのである。

如何なる時代に於ても、個人が悉く理想の人たる事は到底望み得られない。此の故に、國家は政治を施き、法律を作つて、公平に、平等に、善を勸め惡を懲らし共に幸福を享受せしめんとするのである。然るに、此の政治に矛盾があり、統一を失つた時は、多數の無智なる國民は、何の標準として進んでよいか、分らなくなる。内務大臣や文部大臣が、いかに風敎の振作に意を用ひても、學者や敎育家が、いかに男女の道徳を皷吹しても、一方に於て、國家が女子の貞操賣買を公許して居る今日、然も其等の營業者が、時としては名譽ある代議士として帝國議會に議席を有する事もある今

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日、効果のあらう筈がない。何が矛盾といつても、公娼制度の如き國家の大矛盾はなく、何が風教を紊すといつても、遊廓公許ほど風教の大紊亂は無い。是れ實に公娼廢止の根本義である。既に根本に於て許べからざる者である以上は、末葉の事は論ずるまでもないのであるが、此の機會を以て吾等は更に細論したいと思ふ。

◎吉原遊廓善後策に就て

去る二十一日風俗あらため會祚明講演會に於て諸氏の試みた吉原遊廓問題に關する意見を左に紹介する

△高島米峰氏

男女均しく人間である以上女子にのみ貞操を要求し男子は不貞潔であつてもよいと云ふ道理は少しもあるまいと思ふが、然しこれは東洋思想の男尊女卑の傾向から來たものであつて昔から女子は卑められて死んでも佛になることは出來ないとか、又女子と小人とは養ひ難しとか云れて居つたのである、西洋などでもプラトー女は不完全な人間であるとまで云つて居るが、獨り基督教のみは女子を尊んで居るのである、然しこの男尊女卑と云ふ思想は今日では男强女弱と云ふ様に變化して來た傾向がある男子は纖弱き女子を撫はり保護すべきが當然であるのに、之れに反して往々自己の腕力に訴へ從はしめ様として居るのである、女子は又自から卑しいものである、弱いものであると自覺して之れに反抗もせず、只男子のなすが儘になつて居る所から其の權利も延びず實力も擧らないのである、遊廓の出來たのも皆な男子の本能性を滿足させる爲めの者であつて、强者の作り出した產物である、斯る產物の出來たのもあながち男子ばかりが惡いのではない、女子も自から其責を分たねばならぬと思ふ現代の女子は余りに弱すぎ學問に於てもいさゝか劣る所から斯までも汚されるのではあるまいか、今後の女子は自ら强く尊くならねばならぬがそれと同時に男子は女子に貞潔を求むる以上先づ貞男たるべきであると思ふ(概略)

△斯波貞吉氏

罪惡と云ふもの丶源を探れば必ず女と金が關係して居

るものである、この女と金と云ふものは恐ろしき危險な誘惑物であつて、人一度この恐しき誘惑物たる女に接する時は奇麗であると云ふ點の外宗敎であらうが道德であらうが、其の他何物も認められない、この動物的社會から眞の人間社會に進めて行くには其の誘惑物である女即ち娼妓なるものを社會から遠ざけるべきであると思ふ、これ等誘惑物が自然人の目に觸るゝ時は人情として誘はれ易いのである、外國では十五六歲位までの子供は大人と席を同じうさせぬ樣にして居るが之に反して日本では子供の前をも憚からず吉原の話や汚らはしき話をなす家庭が少くないのは實になげかはしき次第ではあるまいか。人の心は奇妙なもので劍刀を扱ふ者は何となく人を切つて其の切れ味を試めしたくなる樣に誘惑物のある近傍に住んで居る者は、自然に其れに陷り且つ之れを何とも思はなくなるものであるから、この機會を幸に人目に觸れない所に隱蔽し去るが適當であると思ふ

△宮田脩氏

敎育の進歩して來たのは喜ばしいことでまた之れを益々進歩させて行くのは當然である敎育の主眼とする所は人間を作るにあるのであるが、吾々が學校の生徒等を連れて上野公園に行つた時十二階の左にある高い家はなんであるかと尋ねられる每に其說明に苦しむのである僞りを云ふことは出來ず、それかと云つて彼所は憐れむべき同胞の多くが人權を蹂躪されて人間としての活動も出來ず、一生を浮世の風に當らず葬り去られる所であると說明するのは敎育者の立場として實に歎かはしい次第である」

〇公娼全廢論

附、吉原善後策

山室軍平君

此度吉原の大火は端なくも其善後策に就て攻究するの必要を生ぜしめた。私が思ふに此際最も良き善後策は唯吉原遊廓を全廢するの一事にある。何も多くある遊廓の中、殊に吉原を一つ丈全廢し樣といふのではないそれを手始めに追々推し及ぼして日本全國の有らゆる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遊廓を殘らず廢止してしまひ度といふのが私の意見である。而して差當り先づ之を吉原遊廓より始めよといふのである。

上、公娼全廢を主張する理由

然らば私は何故に公娼全廢を主張するかといふに、之には凡そ六箇條程の特別なる理由がある。私は今順序を追ふて、聊さかそれを説き明し度と思ふ。

●第一　私は先づ人道の上より考へて、公娼が今日の時代に存在すべきものでないことを主張する。抑々公娼とは如何なるものであるかといふに、規則の文面より言へば、これは自ら好んで醜業に身を委だぬる所謂「出稼娼妓」なるものが、他の部屋代を以て業とする所謂「貸座敷營業者」から、一二の室を賃借し、そこにて勝手氣儘に醜業を營むことを公許してあるといふ姿である。併し乍ら之は唯名義上、又は唯文字面に於ての話である、其實際の事實に立入つて考へて見れば、公娼は明かに二十世紀の時代に殘存する一種奇怪なる奴隷制度である。而も最も醜惡を極むる所の奴隷賣買制度であると謂はねばならぬ。試みに彼娼妓なるものを見られよ。彼等も亦何人かの娘である。嘗ては無垢なる少女の時代もあつたに相違ない。併し乍ら今は即ち如何。彼等は婦人に最も大切なる貞操を切賣しつゝ生活するものである。此分で行けば彼等には最早まともに人の妻となり、又は母となるの資格なきものである。彼等には又家庭の快樂幸福を味ふの望みがない、彼等は人間の姿を有つて居る、併し乍ら其實は動物にも劣る生涯を送つて居るものである。彼等は婦人の装ひを凝らして居る、併し乍ら其實は唯店頭に切賣せらるゝ一片の肉の塊に過ぎないのである。彼等は如何にして此ういふ淺ましい身の上とはなつたものであるか、又何故速に斯る悲慘なる境遇から逃れ出づる工夫をせぬのであらうか。他ではない。彼等は貸座敷營業者、即ち樓主なるものより前借金と名くる身代金にて買取られたる奴隷にて。或は親の爲め、又は家の爲めなどいふ如き巧みなる口實の下に、一度誘ふて斯かる境涯に落されたが最後、最早どうしても滅多なことでは外に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出ることが出來ない樣に仕向られて居るからである。假令死んだ法律規則の文面には何とても認めてあれ、前借金は何處迄も事實上の奴隷買入金である。娼妓は此前借金なるものに束縛せられて、否が應でも醜業を營まねばならぬ始末になつて居るといふのは、隱れもない事實である。或は明治三十三年に發布になつた娼妓取締規則により、所謂娼妓の自由廢業といふことが認められ、娼妓は借金の有るなしに拘らず、いつでも廢業が出來る樣になつて居るてはないかと尋る人があるが。如何にも左樣てある。併し乍ら此れも亦大抵は一箇の空文に過ぎないことを知らねばならぬ。御覧なされ、警察官は娼妓が其名簿の削除を申請する度毎、必らず先づ樓主を呼び出して之と所謂「示談」といふことをさせ、樓主に別段所謂虐待といふ樣な事實でもない限りは、成るべく丈娼妓が今一度遊廓に歸つて其の「年季」を勤め上ぐる樣申聞ける塲合が多いてないか。取分け娼妓になつて日の尙淺い者などに於ては、警察官は殆んど凡ての塲合之に强請的の「說諭」を加へ、彼等が心ならずも再び遊廓に歸つて、醜業に從事せねばならぬ樣に仕向けて居るのてある。かゝる場合に偶々救世軍の者などが、中に入つて口でも利けば、警察官は度々此ういふことをいふのてある。「救世軍は憐れなる娼妓を助けるといふけれ共、それと同時に樓主の事を何とも思はぬのてある。そんな風に一方のみ助けて一方の迷惑を何んとも思はぬといふは、孔子の敎にも亦釋迦の敎にもないことてある。耶蘇敎ても屹度然うあるべき筈てはないか」と。私は此ういふことを言ふ警察官を、穴勝無理だとのみは言はない。之は警察官の責よりも寧ろ公娼制度の罪てある。即ち今の公娼制度なるものが前借金といふものを認め、事實上醜業を擔保に金を貸すことを許して置くから、自然債務を果さぬ間に、醜業を止め樣といふ娼妓を容るゝ餘地がないのてある。而してこれは即ち今の日本の公娼制度は明かに人身賣買の公行を許し、又事實上に奴隷賣買を公認して置く證據てある。畢竟「貸座敷」とか、又は「出稼娼妓」とかいふて、娼妓は唯自儘に樓主から部屋借を

して、そこにて醜業を營む者の如き名稱を用ゐてあるのは、唯人前を繕ふ爲めの表面上の沙汰である。其實公娼は明白なる奴隷制度に相違ないのである。若し然うでないとならば、試に娼妓等に其前借金とは關係なく、又樓主に何んの氣兼をせずとも、何時なりと勝手に醜業を廢め得べきことを、懇ろに說き諭して見たが宜い。恐らく全國五萬の娼妓の中に好んで現在の儘引續き醜業を營まふと望む者は極めて少數であるに相違ない。彼等の中に或者は又「親の爲め」とか或は「家の爲め」だなどいふ考へにて、甘んじて身を苦界に沈めて居るものがある。併し乍ら之は彼等の思ひ違ひてある、無智なるが爲めの心得違てある。それ故彼等に向ひ若し懇ろに其如何なる場合にも婦人の節操を金錢に換ふべからざること、又は其親をして子に身賣をさする樣な無法な親たらしめてはならぬこと、乃至は一夫一婦の人間社會に最も大切なる道德であることなど、說て聞かせて見たが宜しい。彼等の中には忽ち其迷の夢から醒め、飜つて以來眞面目なる堅氣の生涯に入らんことを求むる者が、續々起るに相違ない。併し乍ら今の公娼制度に取つては娼妓等がそれしきの道理をさへ辨へ知らない所か其最も都合の好い所なのである。遊廓を今の儘に維持して行く爲めには、どこ迄も彼等を愚にして置かねばならぬ。彼等は物の道理など分つては、決して斯かる奴隷の境涯に辛抱し居るべき筈のものでない。それ故彼等を無智の儘に保存し置け、之に眞人間の道を聞かせ、滅多に廢業の志など起させてはならぬといふのが、公娼を維持するに必要なる主義てなくてはならぬ。さもなくば公娼は成立すべき見込なき制度である。或は娼妓などして居る婦人でも、敎へれば眞面目な人間になれるかと訝る人々があるかも知らぬ、此點に就ては私は我日本の救世軍に於て、今日迄に約壹千壹百人の此種の婦人を救濟したる實驗の上より云ふことが出來る。娼妓は充分に濟度の見込みあるものであると。蓋し娼妓をする樣な婦人は、概ね無智にして又意志の力の極めて弱い者共てある。隨つて境遇事情の壓迫に會ふては、之に逆ふこと能はず、

果敢なき運命の手に飜弄せられ、飛んだ惡制度の陷穽に陷りて之を遁れ出る方法を知らず、心ならずも穢れし業に身を委ねて居る如き者が多い。か丶る輩を一旦さる不幸悲慘なる境涯より引出し、之を他の純白清潔なる境遇に移し、之に人間の大道を敎へることが出來たとして御覽なされ、彼等は案外に早く亦其方に感化せられ、數ヶ月の後には以前とは見違へる程善良幸福なる婦人となるものが、大略十人の中の七八人である。併し乍ら今の公娼制度は、彼等が然うい ふ眞面目な生涯に入るべき機會を殆んど全く奪ひ去つて居るのである、却つて彼等の闇愚なるに乘じ、所謂前借金を以て彼等を生擒り、舊時代の迷信的道德を以て彼等を繋ぎ、身動きもならぬ樣にして置て、世の道樂者、親不孝者はいふも更なり、無賴漢、博徒、盜賊、詐僞師等、どんな種類の人間にも、思ふが儘に之に侮辱を加へさする樣に仕向けて居るものである、若し玆に人あり、年若き一婦人を捕へ、之を一室に監禁し、之に猥褻を強め、其兩手を縛り、寄つてたかつて之を辱めて居つたとしたら何うであらう。社會は必らず其暴行を憤るであらう、法律は又必らず嚴重に其犯人を處分せずには置かぬであらう。然るに今公娼とは如何なるものかといふに、之は即ち舊時代の迷信的道德を以て人の娘に猥褻を強め、前借金といふ荒繩を以て其兩手をしばり、之を遊廓と名くる別室に監禁し置き、貸座敷營業者と名くる強姦幇助者の手を假りて、遊客と名くる色情狂者等が、入かはり立かはり之を辱しめ、而もそれが一日や二日の事ではない、數年、十數年の長さに亘ることを、平氣で公許して置く所の制度ではないか。嗚呼之は果して私共の時代に存在することを許して置くべき制度であらうか。私は決して然うではないと確信するものである。諸君は又嘗て彼の屢々遊廓内に起る情死沙汰といふものが、如何なる性質のものかを考へられたことがあるか。彼の憐れむべき女性等は右にも申す如き公娼といふ惡制度の犧牲に上げられ、其婦人の生命である所の節操を蹂躙せられ、人の妻たり母たるの特權を奪はれ、家庭の幸福と情愛とを盜み去られ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

却つて日に夜に素性も知れぬ世の親不孝者や道樂者、さては犯罪者などの爲すが儘に身を任せて、淺ましい世渡をせねばならぬ事となり。さりとて其體は負債の爲めに束縛せられ、迷信的道徳の爲めに世と隔てられて、二度と再び自由の境涯に出てらるべき見込は一向になく、絶望の餘り自暴自棄に陷りて、他の不義理な借財に首も回らぬ男でも見付た場合に、つひ一緒に自殺でもして、果敢なき憂世に暇を告げたいといふ樣な始末になる。此ういふなのが所謂廓の情死沙汰なるものではないか。娼妓の身の上も亦眞になさけないものと謂はねばならぬ。數年前救世軍の手にて東北三縣の凶作地から引取て來た貧家の子女百五十人程を私共の宅に置て、其奉公口など世話して居る時のことてあつた。餘りの混雜に、つひ自分の子供が生れて未だ漸く數ケ月にしかならぬ赤坊の病氣の介抱が屆かず、到頭之を喪ふに至つたことがある。當時私は其赤坊を某の病院に送り、其枕邊に坐り、病兒の細い手首を握つて其脈搏を數へながら、熟々其堪へ難き苦痛を身に負ひながら、口に出して訴ふることも得せぬ赤坊の身の上を、不憫に思ふたのである。それと同時に不圖私の胸に浮びたる一つの感想があつたといふのは他でもない。世には此瀕死の赤坊と同じ樣に、其身に堪へ難き苦痛を受けつゝ、唯一言も之を訴ふることを得せず、刻々死地に向ふて急く同胞が、自分の身の邊に、數多くあるのではあるまひか。若し然うであるならば、神よ助け給へ、私は終生此瀕死の赤坊の脈を握つた時の心持を忘れず、世の告ぐる所なき同胞の爲めに力を盡さねばならぬと。而して思ふに今彼公娼の惡制度の爲めに遊廓の中に囚へられ、其身を一生他人の玩物となして、悲しくも亦淺ましき世渡をして居る彼の娼妓の如きは、正しく此堪難き苦痛を身に受けながら、告ぐる所なき同胞の尤もなるものではあるまひか。起てよ、博愛義侠の人、起つて此不憫なる多數の同胞姉妹を此奇怪至極なる奴隷の境涯より解放せん爲めに力を盡せ。こゝに又人買なるものがある。彼等は娼妓といふ奴隸の仲買人てある。人の貧苦につけ入つて其娘を誘

惑し、不法に所謂前借金の頭など刎ね、自分の懷を肥して居る者共てある。「泣顔があれ位だと女衒いひ」と。これは亦どういふ罪深い稼業であるか。こゝに又樓主といふものがある。昔は今の貸座敷營業者のことを「亡八」と書て「くつわ」と讀ませて居つた。亡八とは八つのものがないといふことてある。即ち仁義禮智忠信孝悌、其一つだも有ないものが、樓主にはなるのだといふの意ださうてある。或時吉原の某樓にて娼妓をして居つた二人の婦人が、廢業の後、救世軍の婦人ホームに引取られ此樣な話をするのを聞たことがある。其樓主の婦といふのは至つて無慈悲殘酷なる女てあつたが、それに引かへ其家の若旦那といふのは、又非常にやさしい氣象の人てあつた。此若旦那は新しい娼妓が其家に抱へられて來る度に、「ア、復お前もつらい思をしに來たか」といふては、涙をこぼされる。それを見る。主婦は腹を立て、「お前の樣に、そんなに氣の弱いことて、どうして妾達の後目相續が出來るものと思ふか」といふては、馬乘りになつて長烟管て之を打擲せられて居りましたが。お氣の毒なことに其氣象のやさしい若旦那は、到底ぶら／＼病に冒され、私共の居る間に死んでしまひになりましたとのことてあつた。嗚呼、貸座敷營業者と雖も亦一點の良心があるからには、折々眞夜中に目を醒めてもした時には、必ず今の自分の身の上と、亦其營む奴隷賣買稼業との、如何に殘酷無慈悲なるかといふことを考へ、身の毛もよだつ樣に覺ゆる場合がなくてはならぬ筈と思ふ。而して私共は愛する我日本の國から、一日も早く、此の如き最も醜惡なる奴隷賣買の制度を取除かねばならぬのである。私は人道の上より觀て何しうもて公娼廢止の必要なることを絶叫せねばならぬ。

●第二　私は又風紀の上より觀て、公娼の必ず全廢せねばならぬ事を主張するものである。今遊廓なるものを設けて、公けに數百人の娼妓なるものを全國の各地に抱へて置くといふのは、是れ明らかに全國の男子の不品行を公許して置くものである。公娼が社會の風紀を害するの甚しきことは唯その事丈考へても最早明白に

して疑ふべき餘地はない。さり乍ら世には種々間違つたる議論を唱へるものもあつて、例へば或人々の如きは言ふ樣。生活難が追々切迫して參り、結婚が仲々容易でなくなつた。それ故公娼を設けて男子の性慾を充足さするのは絶對の必要である。宜しく盛んに遊廓を經營したが可いと。併し乍ら若し生活が困難で結婚が六つかしくなつた爲め、男子の性慾を充たす設備として公娼が必要だといふたならば、婦人の方は何うしたら可いかと尋ねたくなるのである。まさか婦人の方に對しては、盛んに「男地獄」の設備をなせとも言ひ兼ねるであらう。否否此の如きものは、人間に肉を屬ける方面、動物に似たる半面のあることを知つて、其心靈的の方面、天使に似たる半面のあることを忘却したる人々の議論である。私共は人間に自制の徳の必要なることを忘却したる人々の議論である。私共は人間に自制の徳の必要なることを認識せねばならぬ、人をして其仕たい放題のことをなさしむるのでなく、却つて或程度迄は何事にも之を抑制することを敎へ込まねばならぬ。昔石川五右衛門は「石川や濱の眞砂は盡るとも、世に盜人の種は盡きまじ」と歌ふて、釜煎りの刑を受けたといふことである。其通古來今日迄何れの時代、何れの國にも、未だ曾て盜人の種の盡たる例はない。併し乍ら誰も人には盜人をする性分があるからといふて、土地を限つて泥棒を公許することを主張した者はない樣子である。私共は世の人が其心靈の力を以て劣等なる肉慾に打克つべきことを敎へねばならぬ。其品行を堅く保ち、忠實に其業務に服し、而して早く一家を成すことが出來る樣にと。それを樂みに勉强さすることは、これも亦一箇の大なる刺激である。然るを生活が困難になつて結婚が仲々容易ではないとの口實の下に、勉強最中、修業盛りに、復しても人々が遊廓に足を運ぶ樣なことを公許して置く樣では彼等の品行は害はれ、其業務は荒み、所謂生活難も結婚難も段々其人々の上に増加こそすれ、決して減退する見込はなくなつてしまふてはないか。私共は此性慾の問題に就ては人々が相當に其自制克己を心がくべき必要のあること

を認めてかゝらねばならぬ。然るを今も遊廓の樣に男子の不品行を公許し、啻に肉體の情慾に渴いて出かける人々許りか、廣く一般の、然うでもない青年少年を迄も誘致して、墮落に至らしむる如き制度は、風教上何うしても許して置くことの出來ない惡制度である。

近頃讀賣新聞に「張見世撤廢論」といふを寄せた人がある。多くの點に於て極めて實際に適切なる議論であると思ふたが、其文の中に其筆者が大火前、或夜八時から九時の間に吉原の大門の傍に立ち、そこに入り來る人々を數へたるに、其數合計一千九百人、內約三分即ち五十餘人は幼年兒童にて、約一割即ち百七十人は十四才乃至十六七才の少年、又約三割即ち五百人餘りは實に十七八才乃至廿四五才の青年であつたといふことである。乃ち知ることの出來る事實は、今の遊廓なるものが、何んなに無邪氣なる幼年、少年を迄も蠱惑し、其單純なる頭腦に一生拭ふべからざる穢らはしき印象を與へて居るかといふこと、又一心不亂に勉强修業に心がけて居るべき幾多の青年を墮落放蕩に誘致して居るかといふことである。私は又法律規則の表面上は兎もあれ、事實に於て遊廓が未だ十四か十五才位の少年をも引張上げて遊蕩させ、其一身を誤まらしめたる如き例を幾らも承知致して居る。同時に又私共は遊廓には多數の妻子のある男が、入込んで居るとを記憶せねばならぬ。御維新前、越後、國長岡の傑士河井繼之助といふ人は、廢娼の必要を感じ、取調べの爲め遊廓の門前に立ちて吟味したるに、其遊客の三分の二迄は悉々く有妻者である事を發見したといふことである私共に官許の淫賣婦を置て、有妻者の姦淫罪を迄幇助して可いものであらうか。或は言ふものがある、遊廓がなくなれば良家の妻や娘が傷けらるゝ恐があると。併し乍ら之は誤りたる議論である。却つて公娼などいふものを許し、僅かの金さへ拂へば、公然と人の娘を弄び物にし得る樣に仕向けて置くから、つひ〳〵他の純潔なる婦人に對する時にも、之を尊敬する心はなくて、彼等も亦必竟男子の玩弄物、肉情を滿足さする爲めの機關であるかの如き感想をなし、まかり間違へば之に

無禮をも加へ兼ぬ様なとになるのである。滿洲に居る支那人の苦力などが、同國人の婦人に對しては相當に身を愼んで居るにも拘らず、日本人の婦人と見れば、往々にして良家の妻女に迄も、街頭にて「姉さん」などといふて、肩に手をかけ兼ぬのは、其あたりに、日本の醜業婦の著るしく跋扈して居る結果である。又米國にて同胞の或者等が志を立てゝ新しき生活を營みつゝ如何にもして日本人の體面を飾る様な世渡をして見せたいと苦心して居るにも拘らず、其貞婉純潔なる妻女などが、外に出さへすれば後から「ジャップ助平」といふて追かけらるゝのは、是亦日本の醜業婦等が、一方に於て盛んに日本婦人の體面を辱めて居るが爲めてはないか。公娼を設け、婦人が金錢に換へて其節操を切賣りすることを公許して置くのは、是れやがて一般婦人の地位を辱しめ、之を危くする所以の道である。又既に多人數共有の浮賣婦を公許して居ること故、金錢に事を缺かぬ上中流の所謂紳士輩は、序に一人で專有の淫賣婦を有ちたいといふ様な横着な氣になつて妾など抱へ、其妻や子供を悲嘆に陷るゝ如き眞似をするのである。又は其反對に公許の淫賣婦をさへ買ふ金のない者共は、折さへあつたら無理にも人の妻や娘を辱め様といふ様な飛んだ了簡になるのである。日本の男子が兎角婦人を尊敬する念慮を缺ぎ、之を玩弄物視する風のあるのは、主として此大仕懸なる公娼の經營に由り、實物教育的に婦人を侮辱する風を養はれて居る爲めてはないか。それ故公娼を全滅してこそ良家の妻や娘の安全は保存せらるるのである。決して公娼あるが爲めに保存せらるべき性質のものではない。或は遊廓がなくなれば密淫賣が殖えるであらうといふ人々がある。併し乍ら之は果して實際に適ふた觀察であるか。或は唯漠然たる一種の空想に過ぎないのではあるまいか。試みに事實に就て見られよ。群馬縣は御承知の通り日本にて唯一の公娼を有せざる地方である。こゝに其群馬縣を中心に、近縣との醜業婦の數の比較を取つた表がある。即ち左の如し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

地名	人口	娼妓	藝妓	酌婦	人口千に對し
新潟	五九、六二七	三五〇	二〇七	二二四	一三、四
長岡	三三、七〇二	一一六	一四三	一〇五	一〇、八
柏崎	九、九八八	五九	八六	三八	一八、三
長野	三七、二〇二	三一〇	一二八	未詳	—
松本	三五、九七九	一一五	一五一	未詳	—
宇都宮	三五、九九三	九五	八五	一〇五	七、九
前橋	三七、一九七	〇	一〇一	五八	四、二
高崎	二八、二〇九	〇	七八	一二四	七、一
伊勢崎	八、三二五	〇	三九	二〇	七、〇
甲府	四七、五四九	一二三	一二八	九五	七、二
足利	二九、二六四	五四	七八	四〇	六、八

群馬縣前橋市に於ける醜業婦の數は、人口千に對する四人二分であり、又兵營所在地として殊に最も風俗の頽廢して居ると稱へらる、高崎市は、醜業婦の數が人口千に對する七人一分であるに對し。栃木縣の宇都宮市は人口千に對する七人九分の醜業婦を有し、長野縣長野市は、酌婦に課稅せぬ故其數が分らねといへば暫く酌婦の方を除き、唯其明白に分つて居る藝妓と娼妓とだけの數に就て見るも、實に人口千に對する十一人二分といふ割合になる。此上に酌婦の數が入つたならば、もう幾人增すことやら知れない。此ういふ風に考へて見れば、遊廓のない處に密淫賣の數が殖えるといふのは事實と違ふた議論である。却つて公娼のある地方は、自からそれだけ醜業婦の數が他よりも多いといふのが最も公平なる見解である樣に見える。彼の吉原遊廓と淺草公園の淫賣屋との關係の如きも、亦此事實を證明するものである。若しも公娼がなくなつた爲めに密淫賣が繁昌するものならば、吉原が燒けた爲めに淺草公園の曖昧屋は大に繁昌すべき筈であるに、其實吉原の大火以來、淺草公園の曖昧屋は、丸るで火の消えたやうな有樣。これ必竟淺草公園の酩酒屋や待合の繁昌は、全く吉原を素見に行くお客による故であらうとは、近頃の新聞にも報導せられた通りである。否々公娼など設けて、大びらに淫賣を行はしむる故、自然密淫賣迄時を得顏に跋扈するのである。一方に稅金をとつて醜業を公許して置く位であるから、他方には又內所で醜業を營む者を取締る勢力を減殺せられるのである。諺に「脣亡びて齒寒し」といふことがある。公娼を全廢するのは、やがて滔々たる密淫賣の惡風に一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大打撃を加ふる所以である。先づ公娼を全廢せよ、さすれば密淫賣を取締る上にも亦一段の便宜を得るに相違ない。かゝる次第ゆゑ、どの道から考へても、公娼あるが爲めに、風紀を助けるといふ樣なとは更らくなくつて、却つて之あるが爲めに、有ゆる方面に社會の風紀の亂れて居る事實をのみ夥しく發見するのである。公娼は社會の風紀を亂るゝと最も甚だしきものである。見られよ、今日多數の道樂息子は遊廓に關係して出來て居るではないか、多數の懶惰者は又遊廓に關係して出來て居るではないか、會社の帳面に穴をあけるもの、友人朋輩に不義理をするもの、親兄弟を泣かすもの、妻子を路頭に迷はすものは、皆是れ遊廓に關係して出來て居る、厄介千萬の產物ではないか。何處に遊廓に全く關係のない泥棒があるか、又何處に遊廓に全く關係のない詐僞師若くは人殺があるか、公娼が風紀を助けるなどゝいふ者は烏を鷺に誤魔化さうとする姦物である、鹿を馬だと欺く虛言者である。私共は公娼あるが爲めに社會の風紀の如何に紊亂せられて居るかを知つて、只此點からだけでも斷然公娼の全廢を實行せねばならぬ。

○之れ實地の問題也（概略）

島田三郎君

殆と廿年前に私は公娼全廢に就て幾分か集會で意見を述べた事があります、其當時の聽衆は靑年學生の方々が至つて少なう御座いましたが、今夜は之に反して千余の靑年諸君が御出になつた事は、甚だ意を强うする事であります、救世軍の諸士は吉原遊廓問題の爲めに絕えず奮鬪して居られる事ですが感心の至りでありますが、警察並びに市の當局者は實に怠慢であります、吉原の如き醜惡なる營業に由つて生活して居る人々すら、尙ほ撰ばれて議員となる如き公民權を與へられて居ります、實に恐れ多くも陛下の御信任を侮蔑いたし居る次第であります。

偖て吉原遊廓は實に長い歷史を持つて居るのであります、曾つては日本橋に置かれた事もあつたが、市が益

く繁榮して民家が稠密になつた爲めに、徳川將軍は之を人家を隔ては田畝中に移しましたが、今日は此處迄も市が發展して今では實に東京市の一部分を占めて居る事になつて居ります。

今日諸君が御承知の通り、深川區の市民は淺野セメント會社の煤煙が健康に大害を與へるとて早く市外に移轉するやうにとやかましく同會社に迫つて居ります、之れは當然な事て、人民の衛生を重んずるならセメント會社の如きは一日も早やく市外に移轉させ、またすべきてあります、吉原の問題もまた之れと同じ事てあります即ち市民の道徳的健康に大なる恐怖と威嚇を與へるものてあります、東京市を滅ほす病源は吉原てあります、宜敷此の如き處を撤去すべきてある、若し出來ないならばせめて之を移轉させねばなりません、吉原が淺草區に醜惡なる感化を與へて居る事は驚くべきてあります而して政府が公認して居る此遊廓の惡風を全市に傳播して居る事は實に憂ふべき事てあります。

吉原の近傍に小學校がある、而して此學校の生徒の多くは醜業者の子弟てあります、學校に於て享くる倫理の教育は全く破壞せられてしまふのてある、近頃の事てあるが、吉原遊廓のある樓主の息が慶應大學に入學したが、學んて行く中に段々その父を父と呼ぶ事を忌むやうになり、遂には其兩親を惡んてくるやうになりました、兎も角も此青年は教育に由つて、彼の人生に一の光明を認め始めました、然し醜業者が自ら恥ちて執實なる職業について、之を其子に讓るやうな特志家も私は數人知つて居るが、如何なるわけてあるか必ず失敗して家の衰微を來すのてあります、之れは慥かに小供の中に深く〳〵しみ込んだる惡癖が必ず何にかの場合に出て來て、其人を誤まらせるのてあると私は信んじて實に恐ろしい事だと思つて居ります、要するに國民の思想が今一層進歩いたさないならば到底健全なる社會を見る事が出來ないのてある、私は國民の思想を吐毒する此の公娼制度が一日も早やく廢せられん事を希望するのてあります。（詳細は次號）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○極東の模範國たらんとする貴國の紳士淑女に望む

デビス孃

今夜の公會で私に演說をするやうとの請を受けました時に、私は適任者てはないと思ふて隨分思ひ惑ひました、先づ第一私の心に浮びましたるは、私如き外國人は他國に於ける斯樣な問題に就て、彼是れ論ずるの權能がないと思ひ何故ならば如何なる文明國と雖も道德上に於て決して何等の汚點がないとは申されません、私は慥かに諸氏の中に「汝は他國人に向つて忠言を呈する前に先づ自國に歸つて其の風俗の匡正に盡せと」思はれる方もあらうと思ひました事て御座います、然し私は今夜諸氏の前に立つて決して忠言を呈したいと思ふのてはありません、是非此際諸氏に向つて正義の爲めに奮鬪していたゞきたいと衷心から希望する切なる精神の訴に外ならないのてあります、不名譽なる營業の全廢は慥かに他國民に尤も注意すべき感化を與へる事て、實に廿世紀の市は國家を亡ぼす處の罪惡に勝ちて正義に其立脚地を固め得るとの榮譽を歷史上に彩然せしめる事が出來るのてあると確信いたして居す貴國は實に偉大なる國民てあると云ふ事は人も免し諸君も認めてお出の事てありませう、而して既に事實が之を證して居るのてあります、然し之れと同時に國民の偉大に伴に大なる責任のある事を思はなければなりません、實際世界の文明國は今日の日本國は凡ての方面に於て如何に發展しつゝ居るか、極東に於ける責任を如何に果しつゝあるかは、注目して居る處てあります若し貴國の政府が世界に有名なる遊廓吉原が全燒したるを機として、之が全廢の英斷に出てられたとか、英國や米國や其他列強の新聞紙にてもかゝれる事が出來たならば、それこそ貴國が今日の榮譽は一層高く深く強くせられて、幾多の巨艦を造り商工業の進步發達をなし外交上の巧業を博したよりも、より以上に正義の勝利者として尊敬せらるゝ事てありませう。

私は婦人矯風會の名のもとにある貴國の團體に、世

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

界婦人矯風會の特派員として遣はされまして、家庭の健全と風俗の純潔を計らんが爲めに、此團體の諸姉と共に盡粹する事が出來るのを無上の幸福と思つて居ります、私は貴國の立派な御婦人方の組織して居らるゝ此矯風會の名のもとに尤も不名譽なる吉原遊廓の全廢に何ものをも忘れて奮闘する事は、寧ろ私の光榮とする處であります。

○當局者の意向

吉原遊廓全焼の四日目に内務大臣を訪問して其善後策を伺ひたいと思ひましたがおめにかゝる事が出來ず、後四日を經て別紙附錄の如き陳情書を持つて内務省を尋ねました、恰も地方官會議の初日とて面會を得ず、陳情書丈を提して、其後再三訪れたがいつも駄目でありました、日々新聞紙には、善後策として識者の意が載つて居りましたが、半以上は實に不信切な寧ろ冷膽な意見でありました、新聞紙は實に冷膽なもので僅か二三の新聞紙を除く外は風教對吉原遊廓などには馬耳東風の姿でありました、先づ東京市役所に尾崎市長に面會して其善後策に對する意見を求めた、矢張新聞紙上に記せられた通りに、「全廢などとは今日なかく出來ない事である、それは公娼制度のやうなものはない方がよいが、因襲の久しき一朝に之を廢する事と非常に困難である、然し廢止せぬとすれば何處に再築させるかゞ問題である、私は今の儘が適當の地であると思ふ」會頭は然らば吉原附近の市の發展に就いては如何にと東京市の地圖を開いて、他方面の膨脹に反して、吉原遊廓地方は非常な縮少である、此の附近は工業地であるから川向の方に移轉させたら人の注意も引かず、風俗上にも余程影響しはせぬかと云ひましたら市長は（其れは川向に移轉させる事は實に結構であるが、淺草區民の生業は如何にするかとの事でありました、之に對する會頭等の意見もあつたが、まづ不得要領でありました、尚ほ市長は遊廓も段々衰微して來て現今では紳士と云はれるものは誰れも行かぬやば、矢張お氣を長くなさらなければ駄目である、吉原遊廓の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全廢は先生（矢島會頭を指して）は他界で見られる事であらう」記者は之を聞いて實に呆然として何と返事してよいか分かりませんでした、而して市長は矢張今日の教育を根本から改めなければ、それ等枝葉の事はと申された、それから助役田川太吉郎氏もまた現狀維持と云ふ說でありました、而して教育によつて自滅を計るより良方法はないと云はれました、せめて移轉をさせる事が出來ないかと尋ねたら、昔し根津にあつた遊廓が、高等學校帝國大學の出來た爲めに、學生の風紀を亂すからとて之れを洲崎に移したのであるが、今日では吉原附近には移轉さす之れ程の强い論據がないと云はれました、學生には危險で普通の人には危險でないのでありませうか、市民と學生とは田川氏の目にはそれ程の輕重があるのでせうか、無識なる記者でさい余りに情けない議論と寧ろ氣の毒に思つた、警視廳に長官を尋ねましたが、不在の爲め第二部長に面會を得ました、二部長は得々として今後吉原に對する警視廳の方針を述べられました、要は建築物に些の制限を付するのであります、私共は來意を告げて當局の熟慮を求めました、而して最後に警視廳は內務省の命のある處に從ふのであるから、內務省に行つて御意見をお申し被下と云はれました、內務省では警視廳が直接の關係があるからと云はれる、右の如く今日までには當局者の意向は私共の悲觀する處でありますが、市の輿論は必ず吉原遊廓の再興を非として公娼を全廢する處にあるのは、演說會（別項）の狀況によつて略ぼ察せらるゝのであります。

家庭欄

○婦人の力

文學博士　桑木嚴翼君

京都婦人矯風會の請によつて二月十一日文藝會の席上に述べられた演說の大要である校閱を經たり

（竹友生）

弱いものを婦人のやうだと云ふ。世上、大抵は婦人と云へば力の無い者として考へてをるやうに思ふ。所へ

「婦人の力」と云ふことを話すやうになつて居るのであるが、これは一面に於て確かに無理な、困難な問題であるやうにも思はれる。

然し又、他の一面を考へて見ると、譬へば巴、板額などのやうに、歴史の上にも力ある婦人の例は少くないこれを部分的に見ても然徒草に『女の髪筋をよれる綱には大象もよくつながれ』とあるより見れば恐ろしく強い力だと思ふし、井戸端會議の口の力なども仲々侮り難いものがあらう。國を傾くる美人の腕力、近くは又、千里眼婦人の眼力など、婦人にも力ある人達が多いやうであるから、是て稍々力を得て更に考へて見ることにしたのである。

以上は部分的なことであるし、又肉體の上のことである。婦人の力はこれ等より外に大なるものがなければならぬ。

「柔能く剛を制す」と云ふことがある。此意味に於て最も人の眼につき易いのは、婦人の弱々しいことが却つて強い原因となると云ふことである。鳥渡した宴會、歌留多會にても見らるゝ如く、集會に婦人の居ないのは實に寂しいものである。花見などでもさうである。或教育家はかゝる事にも弊害云々を云ふがしかしこれも一概に云つて仕舞ふことは出來ない。

斯樣に弱い者があつて、社會を柔ぐることにより、却つて一種の勢力を得ることがある。即ち「慰藉の力」とても云ふ事を得やう。この力は時として侮るべからざる勢ひを示すものである。しかし要之、以上の如く考へると、女は娯樂道具と云ふに過ぎないことになる。煙草屋に看板娘のあるやうに一種の慰み物として、それて能く剛を制するのである、時には喧嘩を鎭め、人氣を和める事も出來るけれども、是丈ては單に娯樂物たるに於ての力に依るのである、

玆に上述と正反對の方面がある。それは「家庭内の力」てある。此點より婦人の力を認めたものは東洋には澤山あるし、少し自分の專門の方に引付ければ獨逸の哲學者の中にも屢々見る所てある。英米の婦人は社會的の力を認められて居る點が多いが、獨逸の婦人は何方

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かといふと日本の如く良妻賢母主義によつて其力を認められて居る。それて哲學者として有名なカントなども「女は臺所の番人だ」といふ様な意味を語つて居る。ニイチエも婦人の勢力範圍を餘程狹く見て、僅かに家庭の中にのみ之れを許し、母や妹などにも女が學問をしたり、參政權の運動を行つたりするのは身もちのならぬものだと云つて居る。ニイチエの急激を以てしても此點のみは保守的てあつた。斯く社會的には、弱さを以て强きを制する點に於て、即ち種の娯樂物として、而して個人的には家庭の主婦として、婦人の力は一般に認められて居る。然し婦人の力はこれだけて滿足すべきてあらふか。予は然うてはあるまいと思ふ。此二種のものは共に外面的のものてある。始めの娯樂の場合ならば人形ても事は足らう。唯これのみに婦人の力を認めるのは、人間としての婦人の價値を全然無視して了ふもので物體と相擇ばないことになる。家庭上の力も、よくこれを考へて見れば全く婦人の價値を無視する者てある。婦人は男子の道具てあるに過ぎない。机、椅子と同樣のものてある。若し臺所の番人てある事に婦人の價値が定るとすれば、ある場合には釜や鍋の方が更に重寶てあらう。

如斯は男子には都合のよい議論てある。曾てある必要から法律の書物を調べて居たとき熟々社會の制度は男子の爲に出來て居ると思つたことがある。尤もこれは日本ばかりてはない。大英百科全書の第一版には Woman と云ふことの定義に僅に female of man, See Homo と記して居るといふ。最近十一版を出す爲には女子の執筆者を賴むとになり其招待の席上に此懷舊談に關する演説もあつたのてあるが、英國てすら少し昔に溯ると斯うてあつたと云へば他は推し得らるゝてはないか。然し若しいつまでもこのまゝあれば婦人の眞の力はないことになる。良妻賢母が惡いと云ふのてはない。惡妻愚母ては無論困るのてあるが、然し他にも認め得べき力があらう。

これを云ふ前に二つの點を注意して置きたい。それは、第一に女と雖も人間てある、物體てはないから人間と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しての力があるといふこと、第二には活きたる人間である以上、活きたる動く力、他の手段や道具ではない其物自身に價値ある力があると云ふ事である。心の力である。心より湧き出る力である。此點から婦人の力を考て見たい、第一に才智の力＝婦人の才智の力は男子のそれと異なつた性質を帶びて社會に一種の力のあるものである。（而してこれは矢張り男子に影響する力である。から、或意味に於ては男子の手段のやうにも見えるが、然し單に道具としての手段ではない。）古より婦人の才智を示す例は多いが、譬へば先きに述べたカント、ニイチエなども其實大に婦人の力を蒙つて居る。カントの名を爲さない頃或家の家庭教師をつとめて居たが、此家の夫人がカントから受け、又反對に之に與へた影響はカントが其弟子に敎へたよりも多かつたらふと云ふことである。ゲーテとシユタイン夫人とのことなどもよい例であらう。シエリングの心を支配したカロリーネもさうである。日本でも王朝期の才女譬へば淸少納言などを見ると彼女の才智を以て周圍を刺し當時の文化を助けたことを思ふのである。紫式部、和泉式部小式部內侍などにも此點を覗ふ事が出來る。尤も武家時代に入つても例に乏しくはない。然し唯此時代では才女と云ふよりも寧ろ賢女の方であつたかと思ふ。而して余は男子を刺戟するものとして特に才女を擧げたいと思ふ。第二に愛の力―「愛は女子の生命なり」と云ふ、これはすべての人の認めるところである。母の愛、妻の愛、友の愛等種々の形をもつて現はれて居るけれども、要之、男子はこの力によつて刺戟せらるゝのである。

この有樣を書いた小說や劇なども少くはない。今少し風變りな方面のを二三列擧すれば例へばイプセンの「ヘッダガブラア」には數奇の天才たるレーボルグがテアといふ女の助けによつて生涯の墮落から起き上らふとしたところを描いて居る。ゲーテの作に詩人タッソオが心に思ふ姫君に捧げやうと思ふ一念によつて其詩をつくることが面白く寫されてある。又、ワグナアのオペラの多くは「此愛の力」を描いたものであるが、譬

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

へば「漂泊の和蘭人」には永久に漂泊の運命をもつた和蘭人が婦人の眞の愛の力によつてかゝる罪業から救はるゝことを信じ、或時一人の婦人に逢ひ、婦人もこれを愛せねばならぬことを感じたのであるが事果さず、兩者共々に悲慘な最後に終つて然る後に、死後始めて完全の解脱を得たことを記して居る。第三に德の力―以上の三つを基礎とし而して之にも增して力あるものは德の力である。これは婦人の有つて居る誠の心によつて男子及び社會が救はるゝ事である。ワグナアの樂劇「タンホイザア」には獨逸中古の武士タンホイザアが姬君エリザベットの愛、德、及び其死によつて其心の救はるゝやうになつたことを描いてある。

斯の如く婦人の德は人の墮罪をさへ救ふことがある。此例はごく理想的な場合であるけれども。卑近な事で云へば婦人が容姿を正しくすることによつて群衆間の風儀を正しくし、或は社交界の禮儀を端すとなども、其一例であると言へる。

然らば即ち何處より這般の力が生じて來るか。其養成はどの樣にすればよいか。

其第一は自覺である。婦人自ら一個の人間であると、其價値を自覺せねばならぬ。是が即ち德の力の淵源であるが、此自覺には修養がともなはなければならぬ。即ち自らの知情意を深く修養せなければならぬ。學問をするのもよい。けれども强ちに專門の學問と云ふばかりではなく、廣く趣味を養はなければならぬ。現今の女學校の程度は低きに過ぎるからこれに滿足してはならぬ。それには演說を聞くのもよし、雜誌を讀むのもよい。暇のあつた時には纏つた書物を讀のもよい。要之出來るだけ、智識を擴めるのである。是が即ち才女となる所以である。

「獨逸の婦人の見地は臺所と子供の室に限れて居る。」と云ふ諺がある。ハウプトマンの「寂しき人々」の中で主人公が其妻に云ふところがある。然しこればかりでもあるまい。又、同情の心を養ふことが肝要である。是が即ち愛の力に關係がある。而して修養の深い者程同情の心がある而して此同情の心さへあれば自分の德

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を社會に及ぼすことも出來る。此如くして三力が合すると共に又、家庭上の力、社會の娯樂的の力も眞の意味を生じて來るのである。

即ちまことの婦人の力は「德」の力と之に件ふ所の「才」と「愛」との力である。廣義に於て社會全體を道德化するもの、善くするものである。詳しく言へば才によつて男子に從ひ社會の活動を刺衝し、愛によつて社會の活動を維持し、德によつて社會の活動を調節する。かくして眞に又人間的に社會を慰藉し、家庭を組成するとが出來るのである。

●昔の女と今の女

文學博士　谷本　富氏

▲瓜實顏と丸ぽちや

昔の女と今の女との違ふところは第一體格にある體格の中の先づ顏のことから初めやうに昔は美人は瓜實顏といふて長味を帶びた顏とせられてあつたが今丸ぽちやの方が流行する即ち昔は棄て今は西瓜が喜ばれることになつたのである、尤も長くても丸くてもそれは生れ付きのことで今更奈何とも仕樣はないが、その丸いか長いかのところに爭はれぬ性格が現はれて居る、一般にいふと丸顏は多血質で瓜實顏の方は神經質である多血質の方は氣輕で愛嬌があり神經質の方は氣は少し重いがその代り品がよい此意味において昔の女と今の女との違ひがある、又將來は何うであらうかを考へるに愛嬌があるとて朝から晩まで笑ひ顛けてばかり居て貰うては始末がつかぬといふて品がよくても陰氣で始終クサクサして居られても厭になる其處は餘程ほどあひものであらふ、昔から良妻賢母といふ言葉があるが良妻で賢母であつたらそれほど結構なことはないが世の中はそう調子よくは行かぬもので夫に對して良妻であつても子女に對して賢母でない女もあり賢母であつても良妻でないものもある、日本には昔の名高い婦人の肖像などが乏いから歷史上の事實に徵して證據を擧げて說明することは出來ぬが早く夫にでも別れて子女を育てゝ行く上においては是非とも賢母でなければな

らぬから此場合には靜かにおッとりとした凛々しう男優りの瓜實流神經質の婦人を可とするやうてある、併し一家繁盛家内和合の場合には矢張り陽氣な丸顔の多血質の方が適當てあらう一利一害一長一短は數の免れぬところ唯だ丸顔の婦人は蓮葉にならぬやう瓜實顔の婦人は陰氣にならぬやうに用心して貰ひたい

▲柳腰と體操

昔の女と今の女とを比べると脊が幾らか高くなつたやうてある是は畢竟學校てやる體操のお陰てあつて世間ては女の體操を見て如何にもお轉婆を敎ふる樣にいふものもあるが全くの大間違てある又世間ては昔の女はそんなことをせいても體格は立派てあつたといふものもあるが昔は武家の娘なら劍術は如何か知らぬが薙刀の稽古などをやる商家の娘なら拭掃除の手傳ひなどして自ら勞働をするから體がよくなる之が體操の代りてある、今の女は是等の勞働の代りに體操をするので其効能に至つては蓋し武藝以上てある學科の試驗の大切てあるがマア嫁入に學業の試驗もすまいからお姫樣のやうに歌を詠んだり繪を書いたりする丈ては困る、體操に精を出し内に歸れば雜巾を以て働くがよい、なほ脊が高いばかりてヒヨロ長いのては困る、昔は柳腰といふて細そりとしたのが善かつたが女は川端に植えるものてはないから必ずしも柳腰を必要とせぬ强健てあらねばならぬ、歐米の女は假令小さくとも體が强い第二の國民の母になる女は此點に注意せねばならぬ

▲精神道德上の女

昔は一概に女は弱いものと極められて仕舞うて世の中から劣者として取扱はれて居たのてある、勿論女の仁王樣は見たこともなし谷風や雷電を片手て投げ飛ばす女相撲取があつたとの噂も聞いたことが無いから力づくの上ては女は弱いものてあつたに相違なからうか精神上てはさう弱いものてはなかつた、即ち男は女の前ては頭が上がらぬといふことは今も昔も同じ人情て言ひ換へて見ると亭主は得てして女房のお尻に敷かれ勝なものてある、その證據に男の爲めに身を誤つた女も少くは無からうが女の爲めに自分の爲さねばならぬ義

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

務を忘れた男の方が更に一層多いのである、儒教では七去など、稱へて女を一段下に措いてあり佛教でも女には五の障りがあつて到底佛身に成ることが出來ぬとしてあるが徒然草にも女の髮の毛し綯つた綱には大象も繋がれる……動物園の象を縛つて試驗して見た結果といふてもないから果して何うだかその邊はわからぬけれど之れは女の情には象のやうな大きな力の强いものでも覊絆されるといふことを說いたものであると心得て居ればよろしい……とあつて事實は女の勢力は中々强かつたものである此の點において今の女は昔の女よりも一段强くなつて來て居るのみならず將來は益々强くなり行くであらうと思はれる、併し事によると却て弱くなるかも知れぬ、元來女房のお尻に敷かれるとか女に迷はされるとかいふのは男の方が惡いのであるから今後男の敎育道德が進步して行くときはそんなことが漸次に無くなるであらうからである

▲男女の交際

新聞や雜誌の議論によると今の男女の間は甚だ墮落したといふやうにいはれて居るが是は果して然うであらうか、今の道德は昔の道德に較べて果して衰えて居るのであらうか、昔ぢやとて男女の間が亂れて無かつたのでは無い芝居や淨瑠璃のお染久松、お駒才三は如何だと反問せねばならぬ、さうすると、イヤ一般に女とはいはぬ女學生と男生との間の風儀が惡いといふのだと言ひ直すかも知れぬがそれなら昔は女學生といふものがなかつたから從つて女學生の墮落といふことも無かつたのだといふまでゞ議論にはならぬ、又假りに一步讓つて實際昔の方が善かつたとしても今更今を昔に引戾すことは出來ぬのであるから昔々といはずに今を善くする分別をせねばならぬのである、又或は恁やうに風俗の紊れて來たのは西洋の風が入つて來たからだといふものもある、西洋の男女の交際は固より自由であるが其間には日本で見る如きいま〳〵しいことは決して行はれて居ない之れは西洋の男女の敎育が進んで居る爲めで殊に女の意志が强いから間違が起らぬのである、操だの貞節だのといふことは歌を詠んで髮を切

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るばかりのものでは無い貞節には誘惑に打ち克つだけの心强さが必要である、男も亦永遠の前に一時の出來心を抑へるのである其上に彼等は智識がある、日本で智識といふと直ちに比叡山の高さが何千尺で京都市の人口が幾許であるなど書物や文學の智識を指す如くに考へられるが左樣なことではない實際の世に處する上に必要な智識をいふのである、尙ほそこへ西洋では兩親の周到なる監督がある實は日本ほど若い女を手離して獨り歩きをさせるところは無いので最も自由などゝいはるゝ佛蘭西などでも高等女學校程度の女になると遠方を一人で通學させるやうなことは無い家から送り迎ひの人を附けるが手の廻らぬ者は學友團といふて三四人なり五六人なり近所の學生が誘ひ合うて一團になつて通學して居る、それから丁年以上になると自由は擴張せられるけれども今度は社會の嚴重な監督の下に立たねばならぬ世間晴れて結婚をしない前に如何はしい風說でも立たうものなら男も女も一生涯世間へ顏出しも出來ぬ仕儀となる此のことは下等の階級の者でも然りで殊に中流以上の階級になつては特に嚴重であるのである。

▲學問の自由

昔は高い程度の學問はお寺即ち比叡山とか高野山とか寺院でなければ敎へて貰ふところが無かつたのであるが、それ等の寺院は女人禁制で今なら遠足登山などと隊を組んで女學校から出かけられるところでも、昔は苅萱道心の話にある通り女は何うしても登ることを許されなかつたから、從つて昔の女は高い學問をしやうと思ふても學ぶところが無かつたのである、尤もこの事は獨り日本だけではない西洋の大學でも今は大概女子の入學を許し學士博士にもなり、中には女で敎授になるのもあるが、ツイ近年までは獨逸でさへも中々容易に女子の大學入學を承知せぬところがあり、就中エーナー大學などは女を入れると門が搖れて崩れるといひ傳へられてあつたといふ程である。

今は日本でも高等女子師範學校、私立女子大學なども出來、先づ一通り揃つて學問の自由を得ることゝなつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た、序に京都大學も女子の入學を許しては何うだといはれると一寸困る

マサカ門が崩れもしまいが當分急にさういふわけにはなるまい、借學問は自由に出來ることになつたが之も自由だからとて勝手に自由を振り廻して、ヤレ政治學だのヤレ法律學だのといふことばかり奔られるのは御免だ、そこは、よく〳〵考へものて米國の大學中殊も有名なコロンビヤ大學の家政科大學が近來非常に盛大に赴くことによつても、女の學問の自由の用ゐどころを知る上に多大の參考となるてあらうと思ふ、近頃新刊の書物を讀んだ中に、女の教育は將來社會的にならねばならぬ、詳しくいふと女の世の中の爲めに務めるやうにならねばならぬといふことて、孤兒院とか貧民院とかの世話に力を盡し、苦しめる者、病める者を慰め救ふ心掛けが大切て現に伯林には女子の社會教育學校と云ふのもある、米國には女子の世の中のために務める學校といふのもある、女は、ソーシヤル、セクレタリーになつて貰ひたいと書いてあつたが、此事は別に女だけに望むのではない、男にも希望したいところてある

▲女子と結婚問題

昔は女教師看護婦など云ふ職業はなかつたが、今は此職業に従事する女子が中々澤山ある、恁ういふ職業に就いて女が獨立して生活することが出來るやうになつた結果、所謂獨身主義などを唱へるものが出て來たけれども、男女別々離れ離れになつて働くことは面白くない、矢張り正當の結婚をして家庭を作り、國家社會の爲に盡力するやうにせねばならぬ、西洋ても女子の獨身生活をするものがます〳〵多くなるやうてあるが甚だ間違つた考へてある、又實も西洋の女子は結婚するまてはよく働きもするが、結婚するのは男に養ふて貰ひに行くのてあるやうに思うて居て、決して夫婦共稼ぎなどの考へがないから、男の方ても全く荷厄介なものを背負ひ込むのだもの相成るべくは遁げたいと思ふのも無理はない。

日本の女も將來恁ういふ考へになると男に遁げられる

やうになるから、何うしても夫婦共稼ぎの覺悟で家庭のことも出來ぬのに家を外に跳ね廻るなどいふことなく、圓滿な家庭を作り上げることに心を用ひて貰はねばならぬのである

内外通信

○本部吉原問題運動につき

四月九日吉原遊廓の全燒の翌々日より全廢運動に着手す、先づ内務大臣を訪問する事三回、陳情書を提出する事一回、別に外國人側より奔走の結果連署請願する事一回、知事市長警視廳長官を訪問すると各々一回（別項）一方檄文を市内各新聞社並に各教會に飛ばして之が同情と應援を求めし事前後二回、特に新聞社には陳情書の寫を送りて之が掲載を依賴せしも、反響を得しは僅かに數種に過ぎず、之と同時に陳情書寫を矯風會各支部各團體（宗教の如何に不關係）雜誌社にも送附す、また一方市民の輿論の聲を慥かめ且つは喚起せん目的を以て左の期日に於て三回の大演說會をなす

四月廿一日午後六時半より神田區美土代町青年會館に於て、第一回廢娼大演說會を開催す之れより先各新聞に依賴して廣告をなす、各新聞紙も第一回演說會につきては、注目すべき廣告をなされたり、時恰かも市民の吉原問題善後策につきて、其成行を考んと熱望し故を以て、開會の頃に至らざるに既に滿員の盛況を見る、來聽者は引きも切らず波の寄するが如き有樣にて、青年會館に於ける尤も稀有なる大演說會なりしと云ふ、會場はつめにつめたる事とて滿場立錐の余地なく七時頃終に會館の門をとざすの已むなきに至る、ピアノ奏樂を以て開會矢島會頭の司會山本青年會主事の開會の辭につぎ、島田三郎先生は破るゝばかりの拍手に迎へられて登壇「之れ實地の問題也」と云ふ題目のもとに、議論整然一言一句理に適し一言の非難も入るゝ余地なく、聽衆は肅然として時々壓ゆる能はさるの首肯を拍手に顯して堂も搖かんばかり先生は一時間余の大演說を了りて、喝采と拍手に送られて退壇、次に

東京市助役田川太吉郎先生また拍手に迎へられて登壇、聴衆は市の助役たる同氏より如何なる言語の出るならんかと、かたづを呑んで待ち構へり、同氏は市の意見として、吉原遊廓の全廢の困難と移轉は困難と述べらるゝや聴衆は失望しぬ、市の無能を叫び、同氏の無氣力を罵倒して、氏の演説は幾度か嘲笑の中に葬られたり、實に吾が會は同氏の爲めにいたく氣の毒に感じたり、終りに山室軍平氏は拍手の中に登壇同氏獨特の痛快なる辯を以て之れまた種々の方面より一時間半に渡り公娼全廢を論じ聴衆の心に消すべからざるの力を與へ堂も破れんばかりの拍手に送られて退かる、實に當夜の演説會は非常の盛會にて、吾等は市民の多くが如何に此問題に對して眞面目なるを、田川氏の之を實見せられたるは當局者への參考として、寧ろ同氏の出演を喜ぶものなり、附記島田山室兩氏の演説は婦人新報に掲載すべし、

越へて廿九日本郷區中央會堂に於て第二回演説會を開く、廣告の僅かに本郷小石川方面のみ配布せしと、にはかの計畫にてなせる爲め、且つ場所の都合等により、先夜の如き盛會を見ざりしも、聴衆五百餘名、山室林歌子兩氏の演説ありて、いと靜粛に閉會するに至る、當夜は市民の多くより内務大臣に請願する紙片を配布す「私儀吉原遊廓の再興を非認し之が全廢を願ふもの也」當夜は五千葉を配布す、而して當夜の聴者は眞面目なる人々のみにて、各々約に從て責任を重んじて、右請願書を續々會頭のものに送りくるゝは感謝の至りなり

五月六日青年會に於て第三回演説會を開く、前夜の盛況を再び茲に見る事は、如何に市民が此問題に熱心なるが伺ふに餘りあり、開會の比既に滿場立推の餘地なきに至る、出席辯士は林歌子、益富、島田、木下、安部の五氏にして、各獨特の議論決辯を以て始終拍手の中に、非常なる感激を與へ閉會せしは十時而して當夜は内務大臣への陳情書の印刷物を賣りまた請願書を配附す、此請願書には人の不贊成なく大なる成功を以て、諸所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に紹介せらるゝ嬉しき限りなり、茲に特書すべきは恰も林歌子氏出京せられしに會したるを以て、役員は同氏の滯在を願ひ日々會頭と諸所を訪問し、此運動に大なる力と奬勵を與へられたるは感謝の至りなり、なほ役員に種々なる方法の者にては大活動を續くる決心なれば、諸君諸氏の大なる同情と祈禱とを希ふ

此運動の爲め金子を寄送せられし支部

○金十圓　旭川　支部
○金廿三圓某　大阪　支部
○二圓五十錢　四ツ谷キリスト教會婦人會
○金五圓　有志者

○大阪

母之會　四月廿二日七曜日午後二時より土佐堀青年會館に於て開催す、司會者は杉田課長にしてモルガン教師のピアノ奏樂を以てはじめられ提摩太前書二章朗讀祈禱につぎウヰルミナ女學校生徒諸孃の歌あり直ちに神戸頌榮幼稚園の保姆主任利久山きそ子先生「かくれんぼう」といふ題にてフレーベル氏が母の爲めにかきのこされし事より先生多年の御經驗を添へられて變化ある有益なる御話をせられぬ、再び生徒方の歌の後京都同志社々長原田助先生は「家庭教育の眞髓」といふ題にて平らたく母の心得數ヶ條を語られ歐米家庭の有樣を述べられて終らる、ついて林會長今回東京吉原全燒につき本部會員諸姉同志の方々と活動を始められ昨夜東京青年會館にて第一の廢娼演說會を開かれし由報告せられ前年當地北區大火の折を省みまづ何より費用の幾分を捧げて力を添へんとの發議に一同賛成し忽ち貳拾圓餘の同情金を得たれば本部風俗課々長名出姉いたく喜ばれ翌日上京を好機とし持參よき土產として大にはげましを與へんといさみ居らる

原田先生の祝禱を以て五時過ぎ閉會常に見えざる會員方またははじめての奥樣も多く百七十八名も集られき

當日數名の新入會者ありき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

招き教育課の働きとして講演會を開きぬ來會者一同へ聖書一巻づゝを呈す林會頭の司會にてローランド氏のピアノ奏樂を以てはじめられ司會者の挨拶について原田先生「奉公の精神」といふ題にて最も適切なる御話をせられコルレル夫人の美はしき獨唱につぎ「教育家の好機」と題じコルレル博士の講演あり同孃のリーデングを目新らしく拜聽して一同愉快の中に散ず

附記

市内小學校教員一千二百名との事につき其案内をいかにせばやと市役所へ伺ひしが幸にも學務課の好意を以て四區役所へ通知して各學校へ案内させんとの事に甚く喜び依頼して只管準備のみ怠らざりしが如何なる故にや當夜集會の教師方いと少數なりしかば折角のかゝる良き賜を其場限りになすはいかにも殘念なれば直ちに先生に乞ひその原稿を印刷に附し近日再び小學校教員諸氏一同へ贈呈する事とならぬ

四月三日　安堂寺町永廣堂(化粧品香料商)今井信子令孃ゆう子名古屋安太郎氏と芽出度結婚式を天満教會に於て長内牧師司式の下に擧行せられ尚大阪ホテルに於て盛なる披露會を開かれたり

　新家庭の上に神の祝福をいのる

四月三日　諸方家還暦祝會を開かる故維準先生の未亡人吉重子拙齋先生夫人八千代子何れも還暦に相當せられ眞田山緒方家に於て盛なる祝會を開かる

當日は親族一同の尤も若き令息令孃たちが凡て會を司どり祝辭饗應萬端をものせられ趣味深きいとも無邪氣なるたのしき宴會なりき

兩姉とも大阪婦人矯風會課長として又ホーム理事として少なからぬ功勞者なれば本會より銀製匙各一個紀念のため聊祝意を表して贈呈す

續て同兩家より内祝として座蒲團五十帖ホームへ寄附せらる

凡て不自由勝なるホームは一同感謝に溢れぬ

四月十二日　濵寺公會堂に於て醫學士佐々木多聞氏葬式執行せらる林會長外數名本會を代表して會葬す

故多聞氏は石神病院副院長にして其の夫人は院長亨

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氏の長女民子姉なり今より三年前婚儀芽出度和氣藹々の内に翌年愛らしき女子をさへもうけられ掌中の玉として愛育せられしも束の間父と呼ばるゝ多聞氏は昨年晩秋の比より病魔の犯す所となり家族一同種々篤き看護に盡瘁せられしかど藥石効なく遂に去る十日朝三十三才にして永眠せられたることそ返すぐも遺憾なれ氏は性質温良にして而も學德衆に優れ大學を終へし後專ら世のため醫學上に貢献せんとて彼の恐るべきペスト黴菌其他傳染病の研究に多く精力を用ゐられしといふ或はかゝるためいつしか病毒に觸れ身犧牲の人となりしにや哀れ歎ずべきの極みなり

宮川牧師は人世悲慘なる今此手痛き出來事により神の無量の教訓を學ぶ事の必要を說き家族一同の上に慰安を與へ熱心神に祈らる

斯る手強き試煉に遇ひて日比信仰強き民子は廿有餘のうら若き未亡人としてしかも幼兒を抱きて雄々しくも淚さへ他人に示さず沈着凜然たる覺悟の體度よその見る目も倘忍はれていとも感淚にむせびぬ

新入會員

佐々木らく子　岡本としえ　ミセスフルトン
岩井つね子　桑田ひさ子　磨崎千代子
井上とよ子　市長夫人植村多榮子　油屋美枝子
中村たづゐ　鈴木安枝子　津村やすよ
伊藤ちか子　大川だい子　〆十四人

○靜岡

去る二月十八日午後十時半より英和女學校に於て例會開かれたり當日は生憎新會長石井姉令息病氣の爲め缺席し城ノブ子姉司會讃美祈禱の後時宜に適したる勸話あり尙ほ十年餘奮鬪したる未成年禁酒法案の衆議院を通過したることを報じ互に感謝し次に綾部副會長を紹介し新任披露をされたり、次にミスデウルノ幼稚園長は片岡姉の通譯を以てカナダに於ける矯風會の事業に付き趣味ある講話あり、吾人の大に警醒學ぶべき事多くありし、後ち事業部の報告ありて四時前閉會集者十八名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

井口丑二譯

新刊

歐洲 救貧事業の大勢

上製七十五錢
並製六十五錢
郵税各八錢

歐洲十數ヶ國の救貧事業を面白く記述したるものです。救貧の事業は目下一番大切なものです、然しこの方法を誤る時には却て有害となります。此書は最も有効な救貧法の參考として最も有益なものです。

○兒童を國寶とする匈牙利○老廢勞働者を廢兵同樣に優遇する墺太利○院内猶且選擧權を有する丁抹の養老院○奇拔なる露國の救貧法○日露戰役中兵士の家族○模範的なる獨逸の國兒保育法○餓ゑても救助を受けぬ半島の武士道國○女子の手に成る慈善事業○其他

發兌 東京京橋尾張町 振替東京五五三 警醒社書店 本郷春木町二 仝支店

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行